

洪水・土砂災害 ハザードマップ

このハザードマップは、下松市で想定される最大規模の大雨によって発生する災害について住民の皆さまに知っていただき、日頃の備えやもしものときの避難行動に活用していただくために作成したものです。
その他(内水、高潮、地震、津波)、ハザードマップを作成しています。



マイ・タイムラインを作ろう

水害や土砂災害の危険があるときには、市から警戒レベル3(高齢者等避難)、警戒レベル4(避難指示)などの避難情報を発令します。避難情報に合わせて、速やかに安全な場所へ避難しましょう。また、事前にとるべき行動を書き出して、マイ・タイムラインを作成しておきましょう。

■自宅の危険度

洪水浸水の深さ	土砂災害警戒区域	わが家の避難場所
m	内 外	

警戒レベル	避難情報	防災気象情報	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保	レベル5 大雨特別警報 氾濫特別警報 土砂災害特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
4	避難指示	レベル4 大雨危険警報 氾濫危険警報 土砂災害危険警報	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等 避難	レベル3 大雨警報 氾濫警報 土砂災害警報	危険な場所から 高齢者等は避難
2		レベル2 大雨注意警報 氾濫注意警報 土砂災害注意警報	自らの避難行動を 確認
1		早期注意情報	災害への心構えを 高める

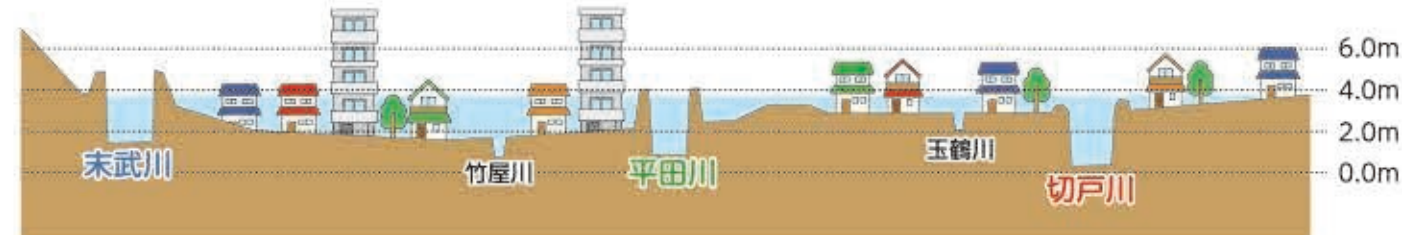


【発行】下松市防災危機管理課 〒744-8585 山口県下松市大手町3-3-3 ☎0833-45-1832

下松市の災害リスク

下松市の地形

下松市の市街地は、切戸川、平田川、末武川の洪水時の水位よりも低いところに位置するため、ひとたび河川が溢れたり、堤防が決壊したりすると、大きな被害に見舞われます。



下松市の過去の災害

水害や土砂災害は下松市でも発生します。近年では、平成16年や平成17年、平成21年には洪水被害が発生し、平成30年には道路や鉄道が寸断される土砂災害が発生しました。これまでの災害をしっかりと記憶にとどめ、日頃の備えを十分におこなってください。



土砂災害の種類と前兆現象

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。



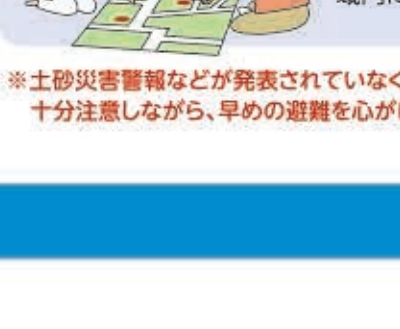
土石流

長雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。



地すべり

大雨や長雨などにより雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたりゆっくりと動きだすものをいいます。



こんな前兆現象に要注意!!



土砂災害に関する情報

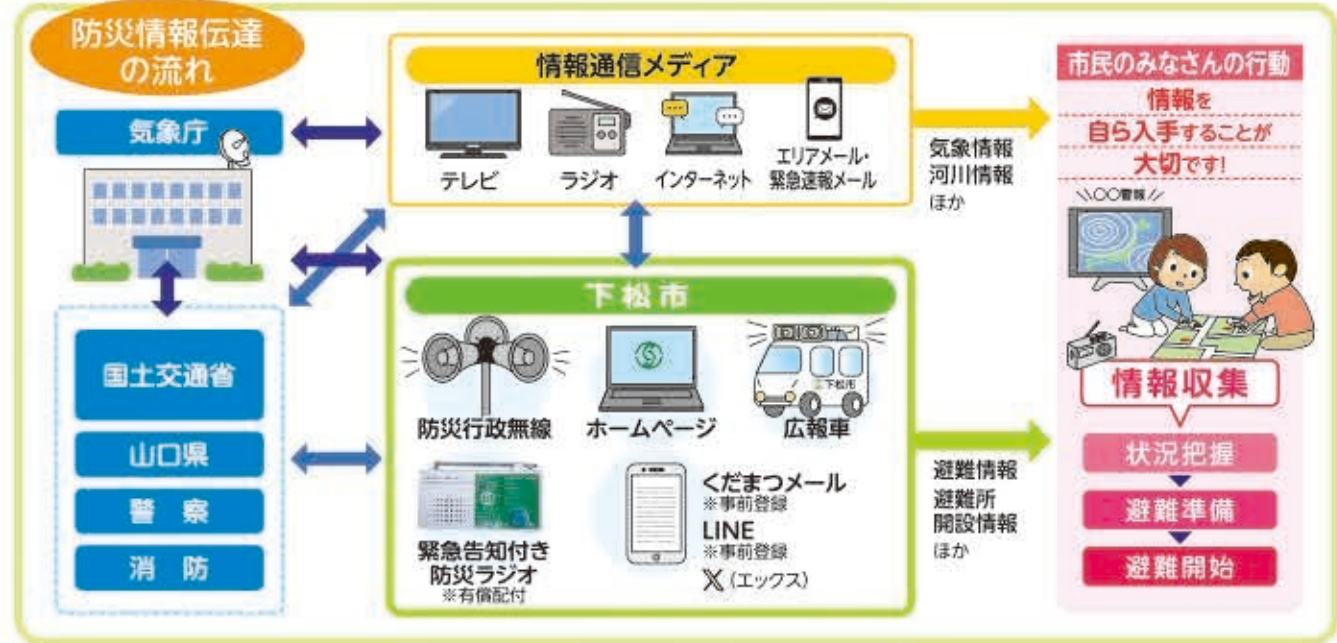
土砂災害警報などは、土砂災害発生危険度が高まったとき、下松市防災危機管理課が発令する情報です。土砂災害警報が発令されたら、土砂災害に厳重に警戒し、土砂災害警戒区域内にいる場合は、直ちに避難してください。

土砂災害警報などが発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあるため、その他の防災情報などにも十分注意しながら、早めの避難を心がけてください。

災害時の情報

防災情報の伝達・入手方法

災害が発生、または発生するおそれがある場合、市は避難情報を発令します。事前に避難情報の入手方法を確認しておきましょう。テレビやラジオ、インターネットなどで、リアルタイムで正確な防災情報を入手し、いざというときに円滑な避難行動がとれるようにしましょう。



市ホームページ(緊急・災害情報)
避難情報、避難所開設情報、河川監視カメラ、水位計・雨量計などを確認できます。道路情報、公共交通情報、ライフライン情報、気象情報のリンク先も掲載しています。

くだまつメール
避難情報、避難所開設情報、気象情報などを配信します。

LINE
くだまつメールと同じ情報を配信します。

防災行政無線
市内32基の屋外スピーカーから緊急情報を放送します。放送内容は市ホームページや電話(自動音声案内)☎0833-48-5007でも確認できます。

緊急告知付き防災ラジオ
電源がオフの状態でも自動的に起動し、緊急情報が最大音量で流れます。購入を希望される方は、市防災危機管理課までお問い合わせください。

防災関連機関の連絡先

名称	電話番号	内容
消防署	119	救助・救急の要請
警察署	110	事件・事故
土木課	45-1850	土のうの支給・用具の貸出し、道路・河川・橋・海岸の被害通報
農林水産課	45-1845	ため池・水路・農道の被害通報
防災危機管理課	45-1832	避難所の開設状況、災害・防災に関すること

日頃からの備え

■非常持出品の準備

いざというときに、直ちに避難できるような非常時に持ち出すものを常備しておきましょう。自分専用(常備薬やメガネなど)のものを優先的に入れて、避難に支障が出る重さにならないよう注意しましょう。

食料 <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> 缶詰、レトルト食品など <input type="checkbox"/> 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) <small>※3日程度準備</small>	救急・安全対策 <input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、ばんそうこう <input type="checkbox"/> 備薬、消毒薬 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん <input type="checkbox"/> マインナーカードなど <input type="checkbox"/> 手指消毒液	貴重品 <input type="checkbox"/> 現金(小銭) <input type="checkbox"/> 印簿、通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> フレジットカード類 <input type="checkbox"/> マイナーカードなど <input type="checkbox"/> 本人確認できるもの
衣類など <input type="checkbox"/> 衣類(厚手のものと薄いもの) <input type="checkbox"/> タオル、毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 雨具	日用品など <input type="checkbox"/> ポリ袋(ビニール袋) <input type="checkbox"/> キッチン用ラップ <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 簡易トイレ <input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備電池) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備電池) <input type="checkbox"/> 携帯充電器(充電器/バッテリー) <input type="checkbox"/> イヤホン	<input type="checkbox"/> 筆記用具(油性マジック) <input type="checkbox"/> 洗面用具(歯磨きセット・入浴用品) <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> マイマスク <input type="checkbox"/> 耳栓 <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 布ガムテープ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> 地図(ハザードマップ)
家庭により必要なもの <input type="checkbox"/> 粉ミルクと哺乳瓶 <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 持病がある方の薬 <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> 生理用品など		

■備蓄品の準備

自宅での避難生活(停電、断水などを想定)に備えて、7日分の食料や生活用品などを常備しておきましょう。

食料 <input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3リットルを目安) <input type="checkbox"/> 米(缶詰やレトルトのご飯なども便利) <input type="checkbox"/> 缶詰や菓子類 <input type="checkbox"/> 粉ミルク・離乳食	燃料・日用品など <input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> 毛布または寝袋 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 簡易トイレ <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 布ガムテープ	<input type="checkbox"/> ブルーシート <input type="checkbox"/> 簡易トイレ <input type="checkbox"/> 簡易食器(紙皿、割り箸など)
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

備蓄 ▶ 消費 ▶ 補充 を繰り返す

ローリングストック(循環備蓄)を心がけよう

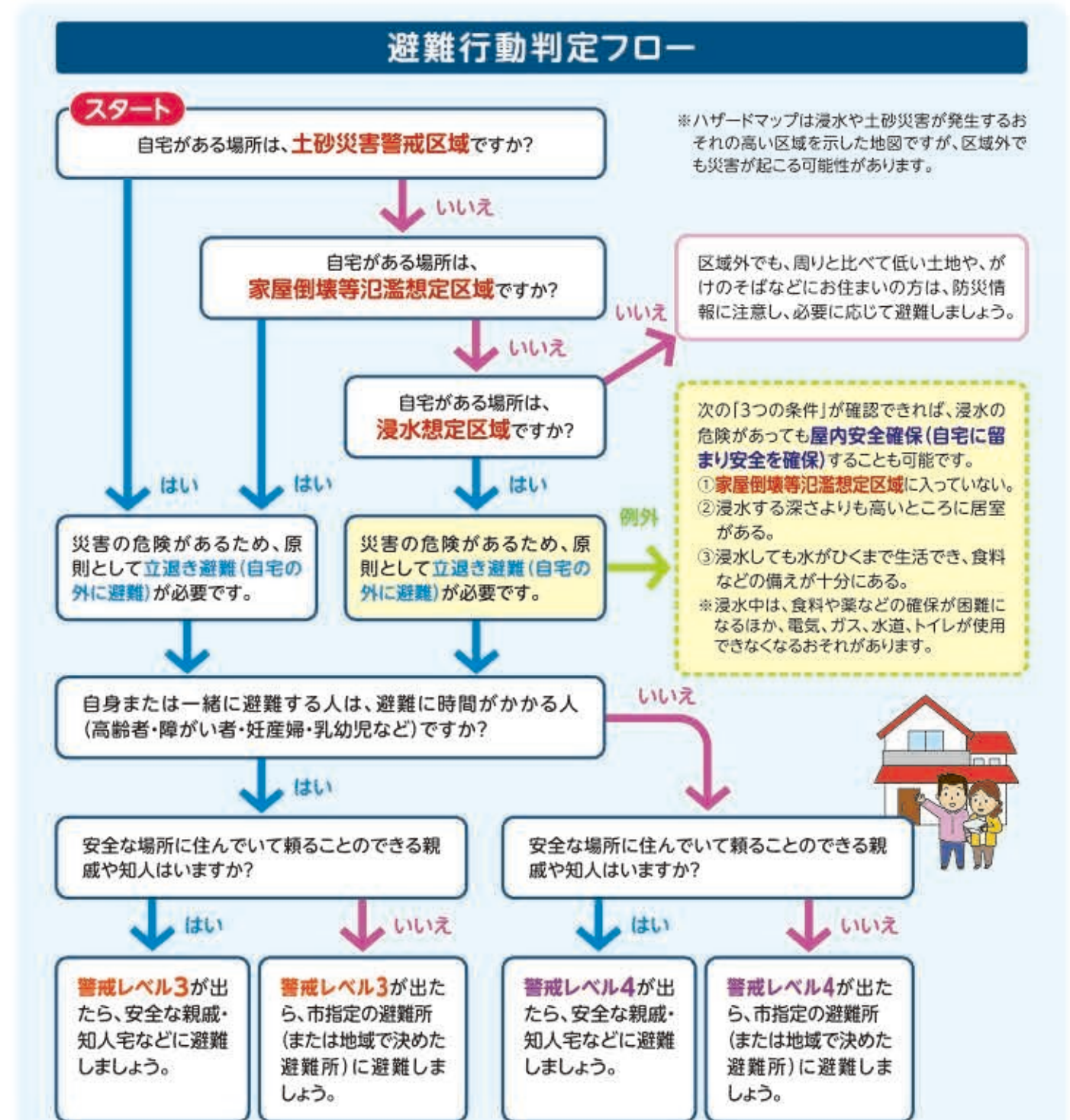
ローリングストック(循環備蓄)とは、日頃から食べているものや使っているものを少し多めに買って置き、使ったら使った分だけ買い足していくことで、常に一定量の食料や生活用品を自宅に備蓄しておく方法のことをいいます。この備蓄方法を行うことで、いざというとき日常生活に近い生活を送ることができます。



避難する際に知っておくべきこと

避難行動判定フロー

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、周囲の災害リスクを把握し、いつ、どのような避難行動をとるべきか、事前に考えておくことが大切です。台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう。



すでに災害が発生・切迫し、あらかじめ決めていた避難場所への立退き避難が安全にできない場合は、命の危険から身の安全を可能な限り確保するため、その時点でいる場所よりも相対的に安全である場所へ直ちに移動しましょう。
※危険な場所にいる人は、警戒レベル4までには必ず避難しましょう。

避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定される場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

状況により、すばやく避難しましょう 避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。	家族には連絡メモを残そう 外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくことで良いでしょう。	動きやすい服装、脱げにくい運動靴で避難 長袖、長ズボン、脱げにくい運動靴で、棒を杖代わりに安全を確認しながら歩きましょう。
集団で助け合おう 単独での行動は避け、近所の人たちと集団で安全な場所へ避難しましょう。	車での避難はよく考えて 車は、約30cmの浸水で走行困難になります。渋滞の可能性もあるため状況によっては、車での避難は避けましょう。	安全な経路で避難 避難所への経路は、川べりや、がけ・崖のそば、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

避難行動要支援者について

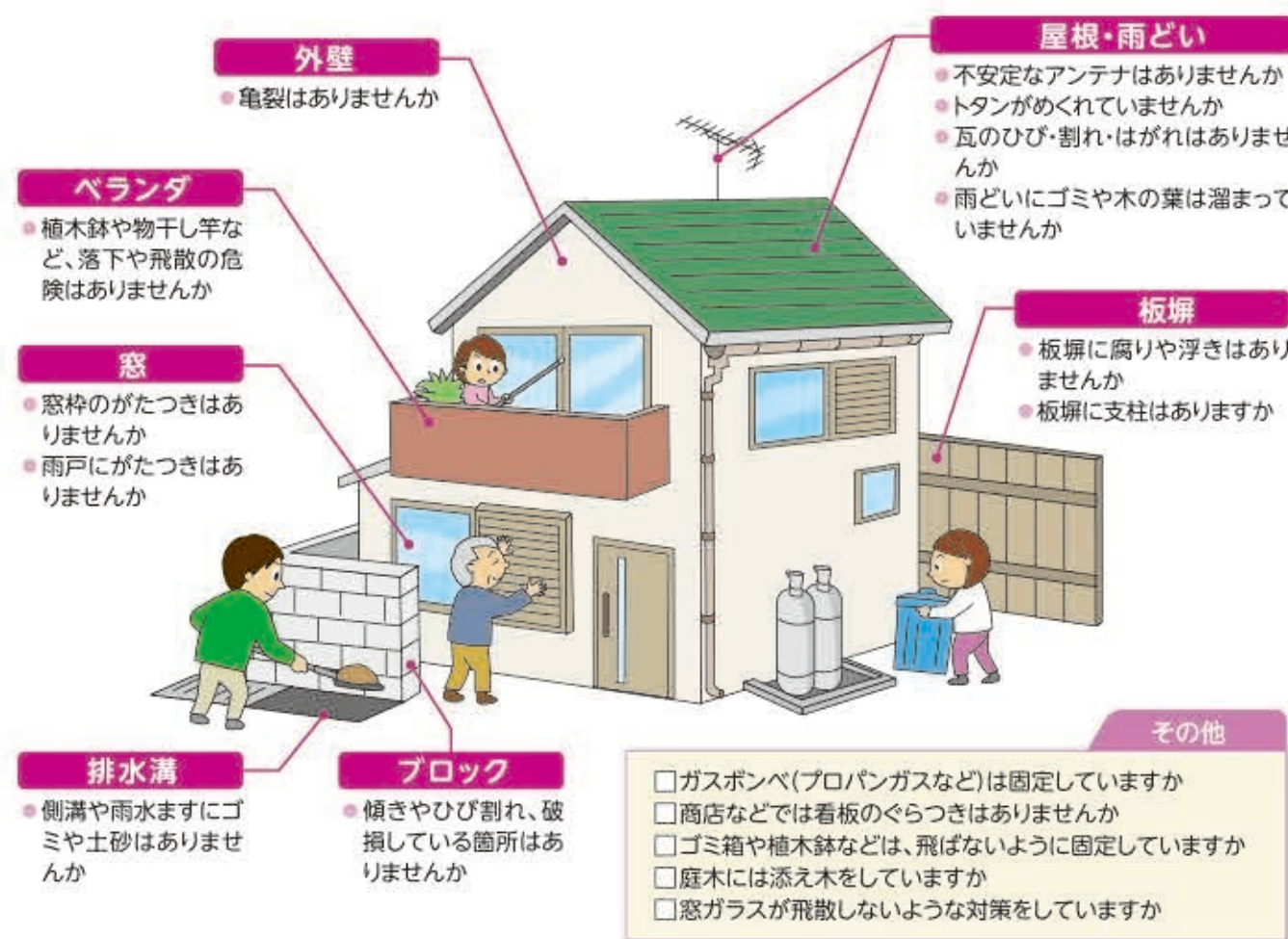
高齢者、障がい者、乳幼児などの特に配慮を要する方(要配慮者)のうち、災害発生時に自ら避難することが困難で支援が必要な方を、避難行動要支援者といいます。支援が必要となった場合は、地域で協力し合いながら、近所の高齢者、障がいのある方などの安否確認、避難所への移動を支援しましょう。

高齢者・病人 ● おぶって安全な場所まで避難する。 ● 複数の介助者で対応する。	目の不自由な方 ● 声をかけ、情報を伝える。 ● 誘導する場合は、杖を持った方の手に触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩手前をゆっくり歩く。
肢体の不自由な方(車椅子) ● 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。 ● 介助者が1人の場合、ひもなどを活用し、おぶって避難する。	耳の不自由な方 ● 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。 ● 手話、筆談、身振りの方法で正確な情報を伝える。

風水害に備えて

風水害への備え

台風や大雨などによる被害を最小限にとどめるために、日頃から家屋やその周囲の点検・修理・補強を行い、十分な風水害対策を講じておきましょう。



浸水対策

土のうステーションの使用について

土のうステーションとは、大雨が降ったときなど緊急時に家屋などの財産を水害から守るために必要な土のうを貯蔵する施設です。出入口に土のうを設置することで、家屋への浸水を防ぐことができます。大雨が見込まれる際には、貯蔵した土のうをご自由に活用ください。

防災訓練への参加

市では、防災関係機関や地域住民との協働により、市内各公民館にて住民参加型の防災訓練を実施しています。また、地域独自の防災訓練が実施される場合は、積極的に参加しましょう。

詳細は市ホームページ(下松市防災訓練) ▶